# 1 iStorage NSの設定を行う

- iStorage NS 導入準備
- iStorage NS のリモート管理
- 管理者メニュー
- ディスクの管理
- ユーザー/グループ管理

# 1.1 iStorage NS 導入準備

## 1.1.1 ネットワーク環境

iStorage NS を導入する前に、以下のネットワーク環境についての情報を決定してください。

- ネットワークへの接続形態（ワークグループとして接続するか、既存のドメインに参加するか）
- IPアドレスの設定方式（DHCPサーバーを使用するかどうか）
- コンピューター名
- ワークグループ名 または ドメイン名
- 管理者のパスワード
- IPアドレスとマスク値（IPアドレスを直接指定する場合）
- デフォルトゲートウェイ（IPアドレスを直接指定する場合）
- DNSサーバーのIPアドレス（DNSサーバーを直接指定する場合）

## 1.1.2 初期設定ツール

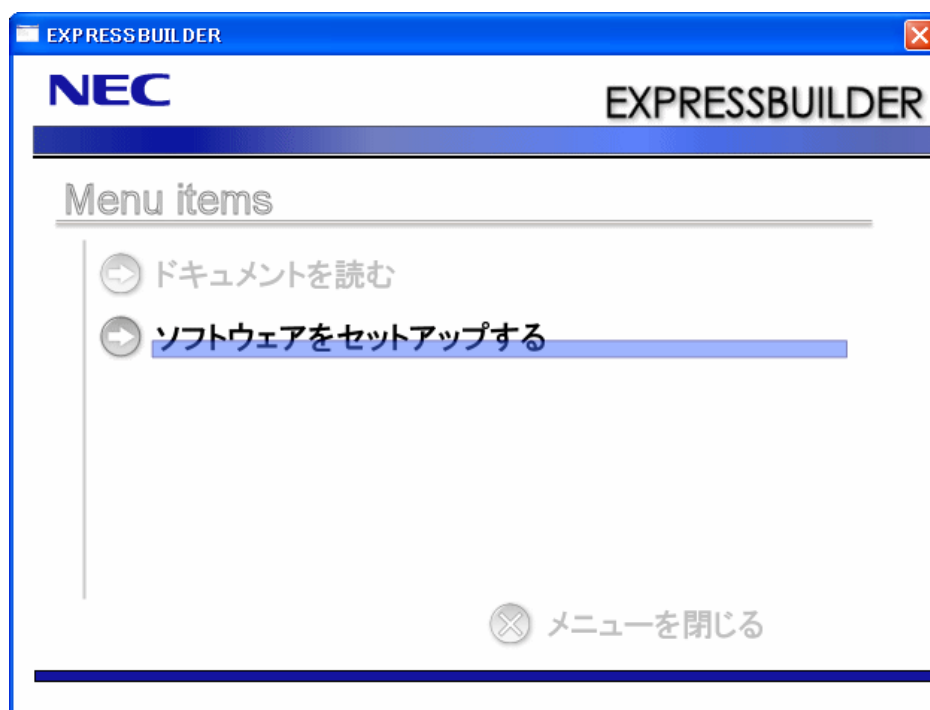
iStorage NSでは、「EXPRESSBUILDER」に格納されている初期設定ツールを使用してコンピューター名、IPアドレスを設定します。管理PC （Windows 2003/ Windows 2003 R2/ Windows 2008/ Windows 2008 R2/ Windows XP/ Windows Vista/ Windows 7） に、装置添付の「EXPRESSBUILDER」をセットして初期設定ツールを起動し、前述の【1.1.1 ネットワーク環境】に記載した情報を基に初期設定を行ってください。

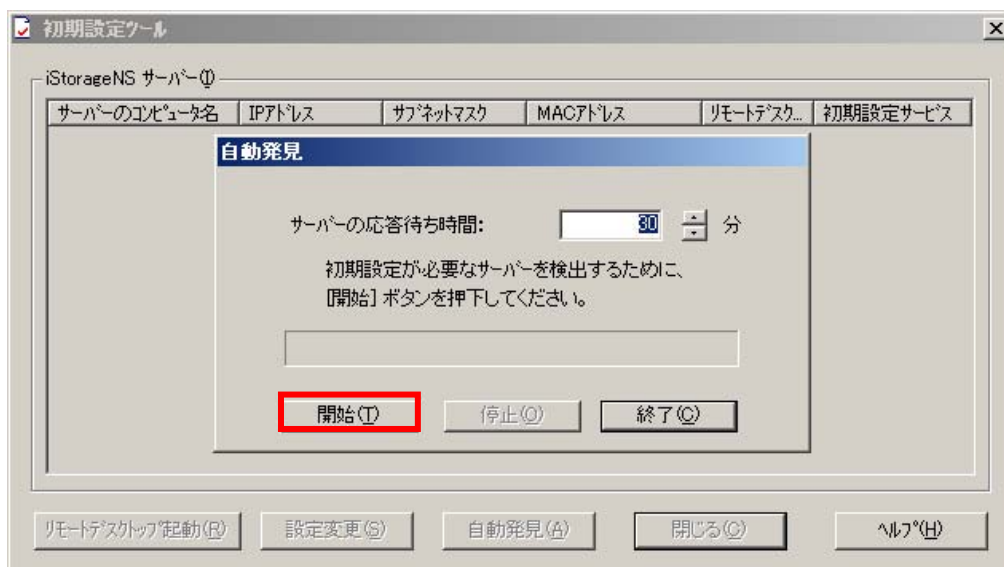
【注意】
- 管理PCは iStorage NS と同一LAN上に存在するコンピューターを使用します。
- 同一ネットワーク上で複数の iStorage NS を初期設定する場合は、1 台ずつ起動して初期設定を行ってください。
- 初期設定では特定のLANポートを使用します。スタートアップガイドを参照してLANケーブルを接続してください。
- 出荷時には初期設定ツールで使用するUDPポートは開いた状態になっています。初期設定後に、後述する手順に従ってUDPポートを閉じてください。

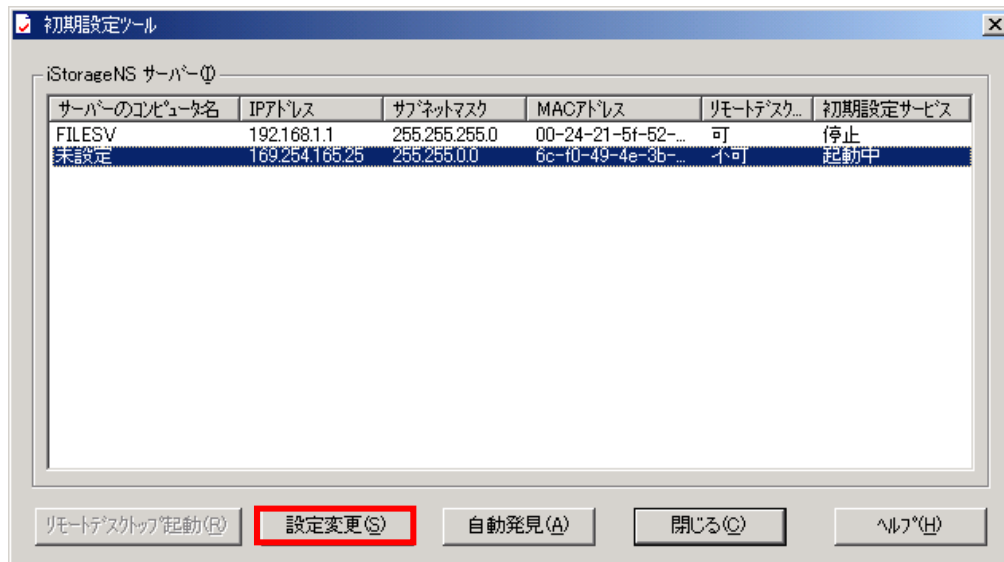
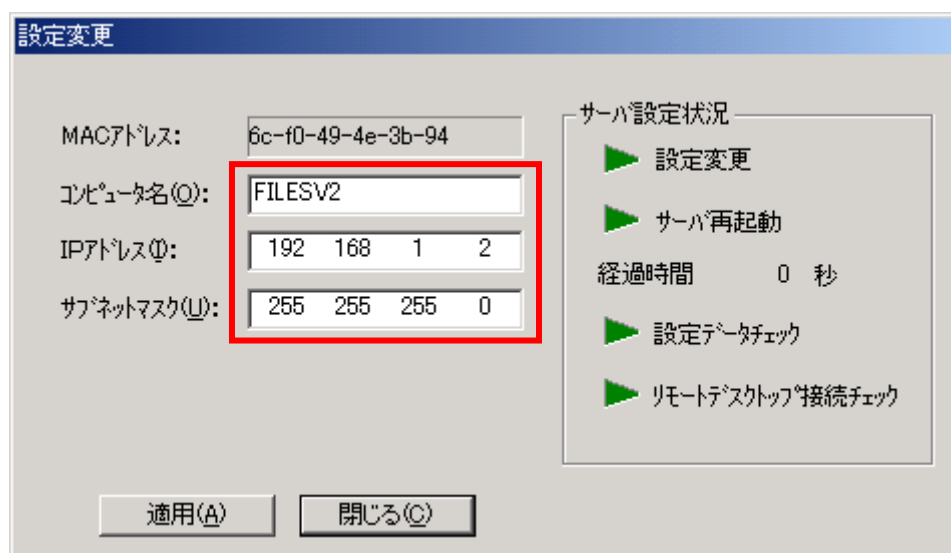
**iStorage NS の設定を行う**

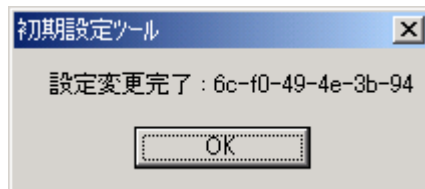
1. iStorage NS の電源を ON にし、管理 PC の光ディスクドライブに、「EXPRESSBUILDER」をセットします。オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。

> 【補足】 表示されない場合は、エクスプローラーから「マイコンピューター」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2. [ソフトウェアをセットアップする] をクリックして、表示されたメニューから [初期設定ツール] をクリックします。

3. 初回のみ、[ご確認] 画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、[OK] ボタンをクリックします。

4. 初期設定が必要なサーバーを検出するために、[開始] ボタンをクリックします。

対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の [サーバーのコンピュータ名] 欄に "未設定" と表示されます。"未設定" のサーバーが検出されたら、[停止] ボタンをクリックして自動発見を停止後、[終了] ボタンをクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーの OS が起動するまでには、構成によって、20～30 分かかる場合があります。30 分経っても検出できない場合は、再度 [開始] ボタンをクリックしてください。

5. "未設定" のサーバーのリモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、リモートデスクトップによる接続が可能なため、"未設定" のサーバーを選択し、[リモートデスクトップの起動] をクリックして【1.1.3 iStorage NSにログオンする】に進んでください。「不可」に変わった場合は、"未設定" のサーバーを選択し、[設定変更] ボタンをクリックします。

6. コンピュータ名、IP アドレス、サブネットマスクを入力して [適用] ボタンをクリックします。

7. 設定変更を確認する画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。

8. 完了メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

以上で、本装置の初期設定が完了し、リモートデスクトップ接続で管理できる状態になりました。

### 1.1.3 iStorage NSにログオンする

1. 管理 PC でリモートデスクトップを起動します。

2. 接続先に本装置のコンピューター名をまたは IP アドレスを入力します。

3. ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

【補足】 初期状態においては、パスワードはあらかじめ設定されていますので装置添付のスタートアップガイドを参照してください。

リモートデスクトップの詳細については、本書の【1.2　iStorage NSのリモート管理】をご参照ください。

## 1.1.4 管理者のパスワードを変更する

administrator のパスワードは出荷時にあらかじめ設定されていますが、本装置のセキュリティを保つために必ず変更してください。

1. [Ctrl+Alt+End]を押下し、[パスワードの変更]をクリックします。

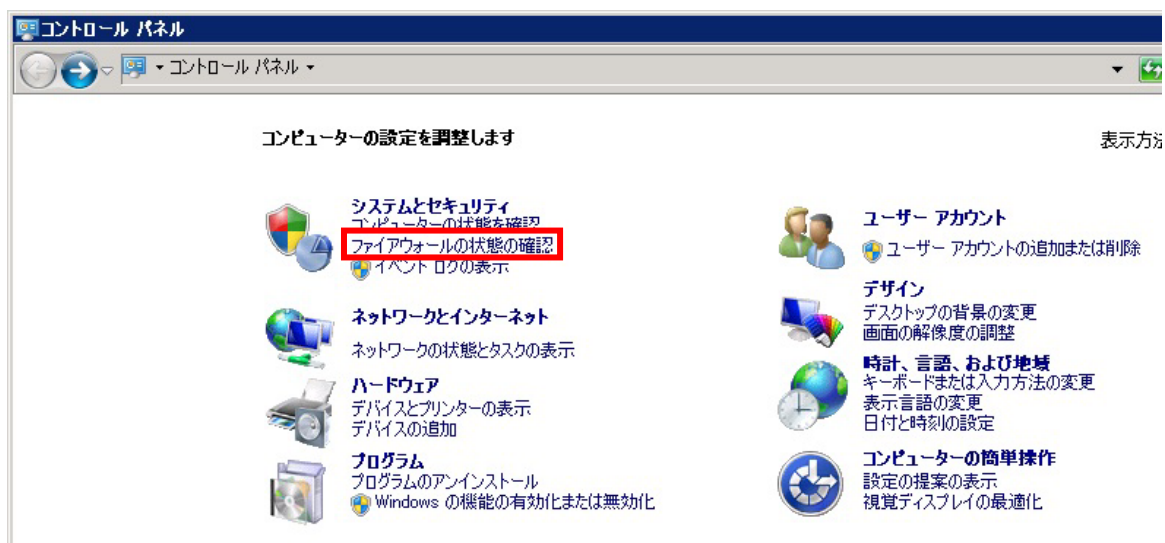
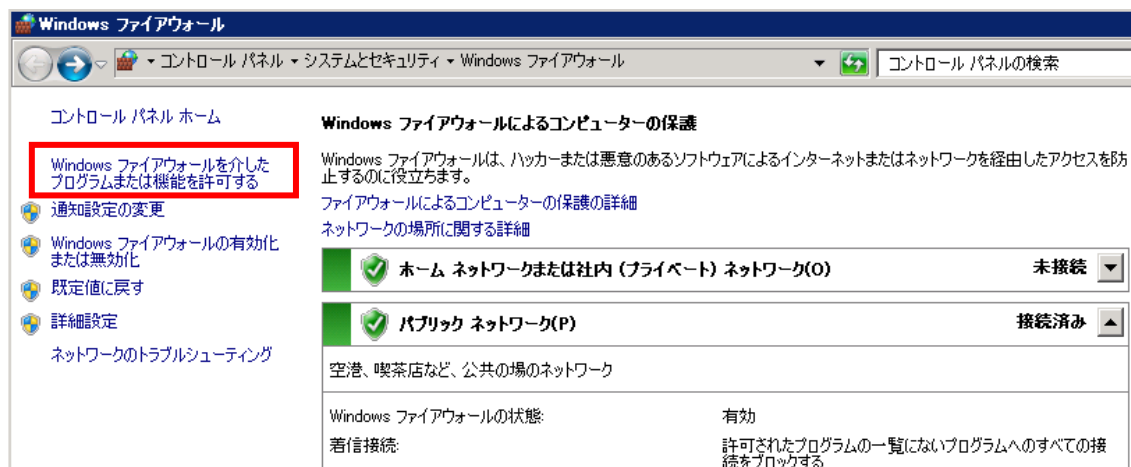
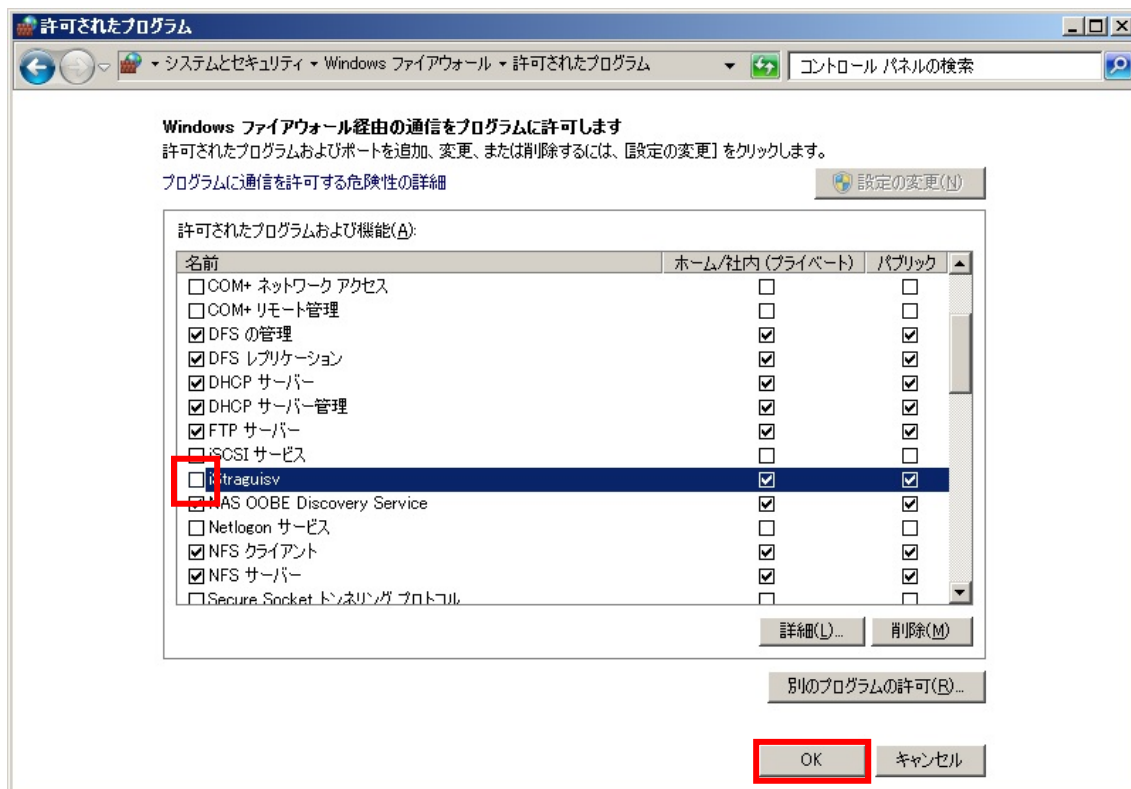
2. [古いパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワードの確認入力] にそれぞれ入力して をクリックします。

3. [パスワードは変更されました] と表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

【注意】
- パスワードの有効期限は初期設定では 42 日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- パスワードの文字数は 6 文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の 4 つの種類のうち 3 つの種類が使用されていなければなりません。

## 1.1.5　初期設定ツール用のポートを閉じる

出荷時は初期設定ツールで使用するポートが開かれた状態になっています。初期設定後、以下の手順でポートを閉じてください。

1. [スタート]→[コントロールパネル] をクリックし、画面の [ファイアウォールの状態の確認] をクリックします。

2. [Windows　ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックします。

3. [iStraguisv]の左側のチェックをはずし、[OK]をクリックします。

以上で、初期設定用のポートが閉鎖されました。

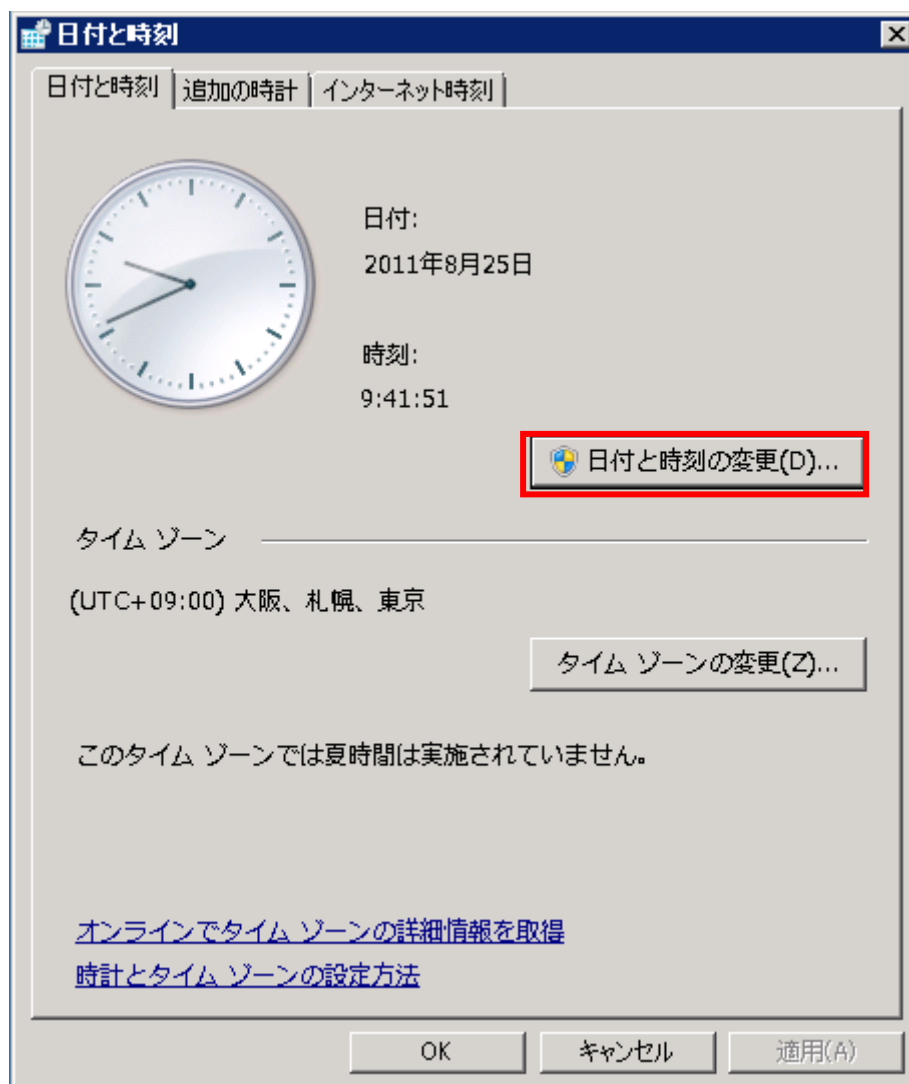
## 1.1.6　日付と時刻を設定する

日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。

1. [初期構成タスク] 画面の [タイムゾーンの設定]をクリックします。

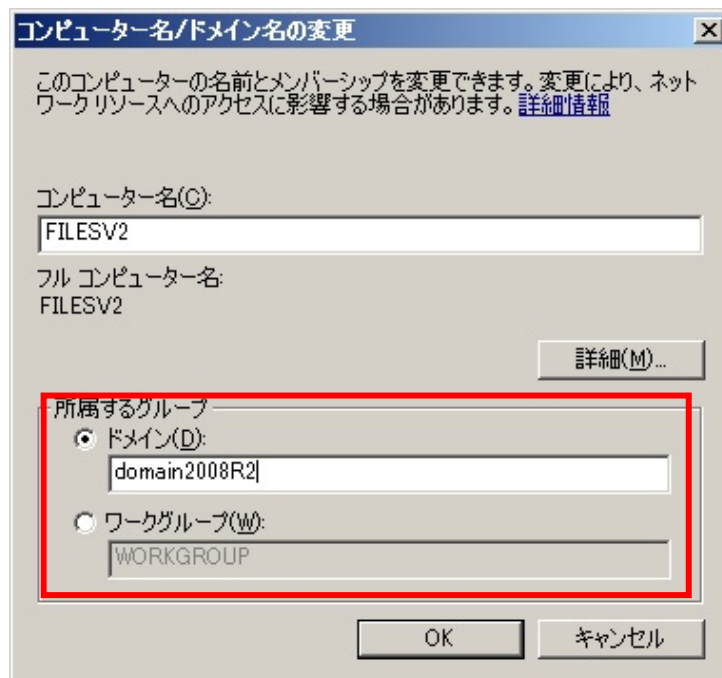
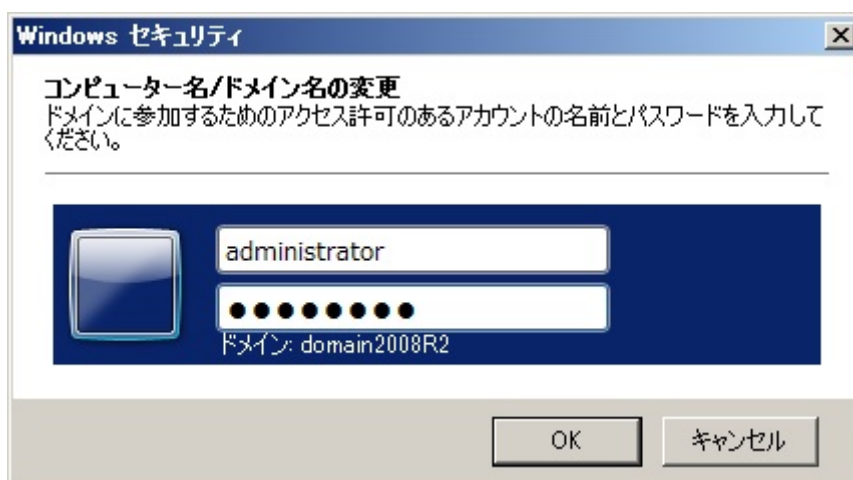
【補足】 [初期構成タスク] 画面を閉じた場合、または [ログオン時にこの画面を表示しない] のチェックを有効にした場合は、以下の方法で [初期構成タスク] 画面を再度起動することができます。

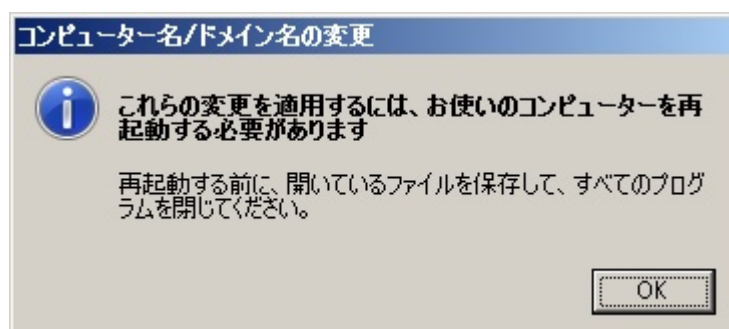
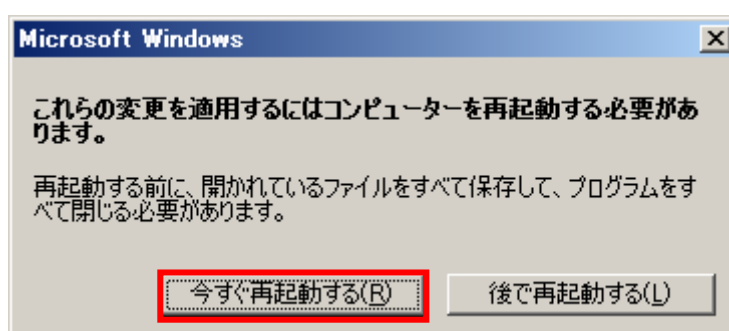
- ［スタート］→［検索の開始］欄に
  c:¥windows¥system32¥nasoobe¥nasoobe.exe
  と入力して Enter キーを押下する。

2. [日付と時刻] タブの [日付と時刻の変更] ボタンをクリックします。

3. 日付と時刻を合わせて [OK] ボタンをクリックします。日付と時刻のプロパティ画面を閉じます。

## 1.1.7 コンピューター名／ドメインを設定する

1. [初期構成タスク] 画面の [コンピューター名とドメインの入力]をクリックします。

2. [変更] ボタンをクリックし、コンピューター名、所属するドメイン/ワークグループを指定して [OK] ボタンをクリックします。【1.1.2 初期設定ツール】でコンピューター名を設定している場合、新たにコンピューター名を入力する必要はありません。

3. [Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、ドメインに参加する場合はドメイン管理者のユーザー名とパスワードを、ワークグループの場合は本コンピューターの管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

4. 以下のようなメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

5. 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

6. [閉じる] ボタンをクリックしてシステムのプロパティ画面を閉じます。以下の画面が表示されたら、[今すぐ再起動する] ボタンをクリックして iStorage NS を再起動します。

# 1.2 iStorage NS のリモート管理

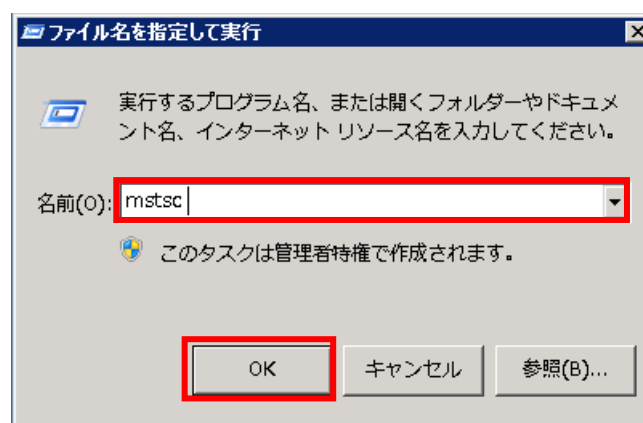
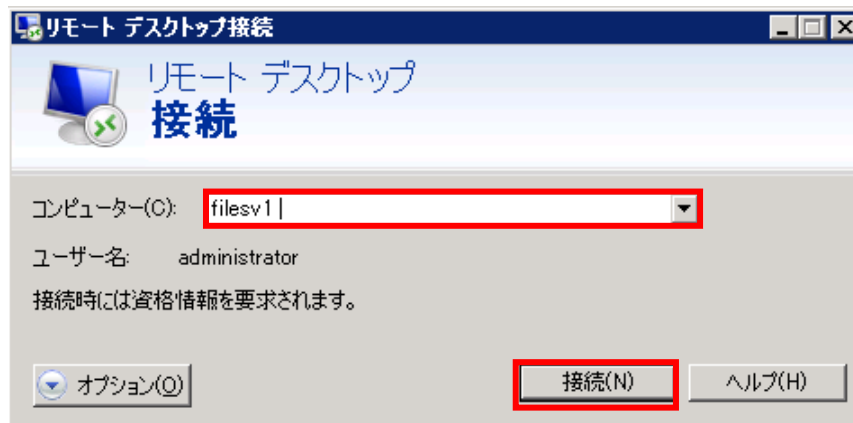
iStorage NS は管理 PC のリモートデスクトップを利用して、ファイルサーバーに関する各種設定や管理を行います。以下の接続方法により、iStorage NS にリモートログオンできます。

- リモートデスクトップによる接続
- Windows OS でブラウザ（RDP Web サイト）による接続
- Windows OS 以外でブラウザ（RDP Web サイト）による接続

それぞれの接続方法について説明します。

## 1.2.1 リモートデスクトップでの接続

システム管理者は、リモートデスクトップ接続を使用して、Windows ベースのコンピューターから iStorage NS を管理することができます。以下に、リモートデスクトップを使用する接続手順を記載します。

1. 管理 PC で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] 欄に “mstsc” と入力して [OK] ボタンをクリックします。

2. [コンピューター] に、接続する iStorage NS のコンピューター名または IP アドレスを入力して [接続] ボタンをクリックします。

3. ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

【補足】 初期状態においては、パスワードはあらかじめ設定されていますので装置添付のスタートアップガイドを参照してください。

4. ログオン後、[管理者メニュー] と [サーバーマネージャー] が起動します。

【注意】 リモートデスクトップで iStorage NS にログオンできるのは、管理者権限を持つユーザーのみです。また同時接続可能なのは 2 セッションまでです。

## 1.2.2　ブラウザ（RDP Webサイト）での接続

システム管理者は、管理 PC からブラウザを使用して、iStorage NS をリモート管理することができます。クライアントの設定として、Windows による設定手順を説明します。

【注意】 Java Runtime Environment (JRE) が正しくインストールされていないと、"このページのすべてのメディアを表示するには追加のプラグインが必要です" というメッセージが表示される場合があります。Microsoft 以外のシステムへの JRE のインストールについては、Java Web サイトのインストール方法を参照してください。

### 1.2.2.1　Windows クライアントでの RDP Web サイト設定

Windows からブラウザを使用して、iStorage NS を実行しているサーバーをリモート管理する場合、Internet Explorer で ActiveX コンポーネントの使用を有効にする必要があります。以下に、設定の手順を記載します。

1. Internet Explorer を開きます。
2. [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。
3. [セキュリティ] タブの [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
4. [設定] で [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] までスクロールし、[有効にする] または [ダイアログを表示する] のいずれかをクリックします。
5. [OK ] をクリックし、セキュリティポリシーの変更を保存します。

### 1.2.2.2　ブラウザでの接続手順

ここでは、ブラウザを使用し iStorage NS に接続する手順について説明します。

1. 管理 PC でブラウザを開きます。

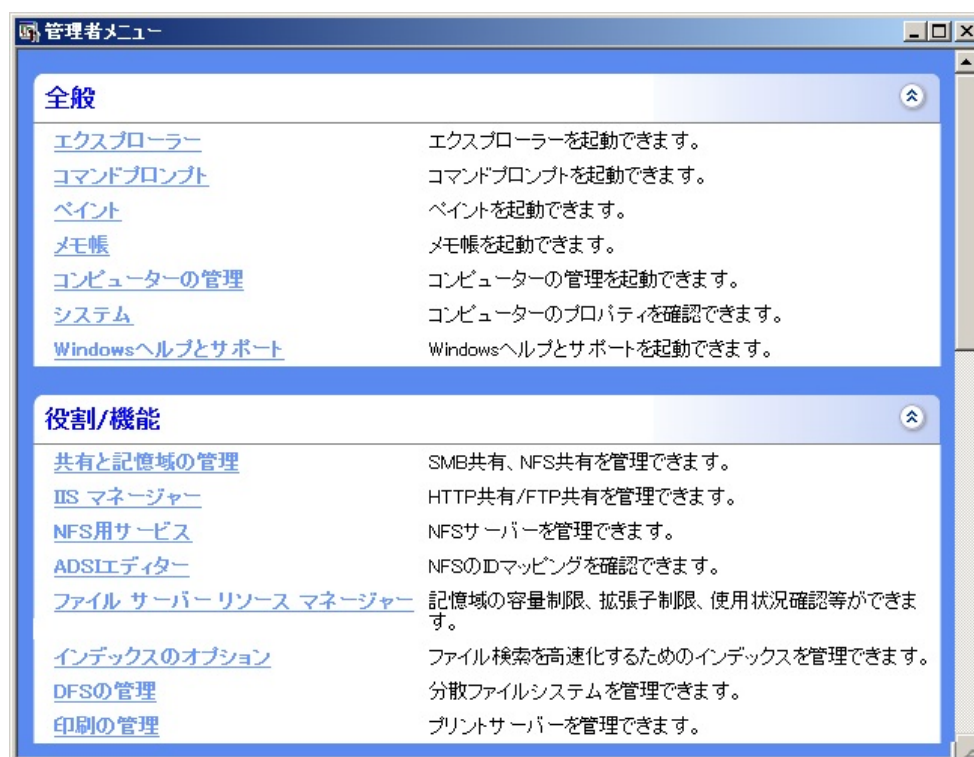
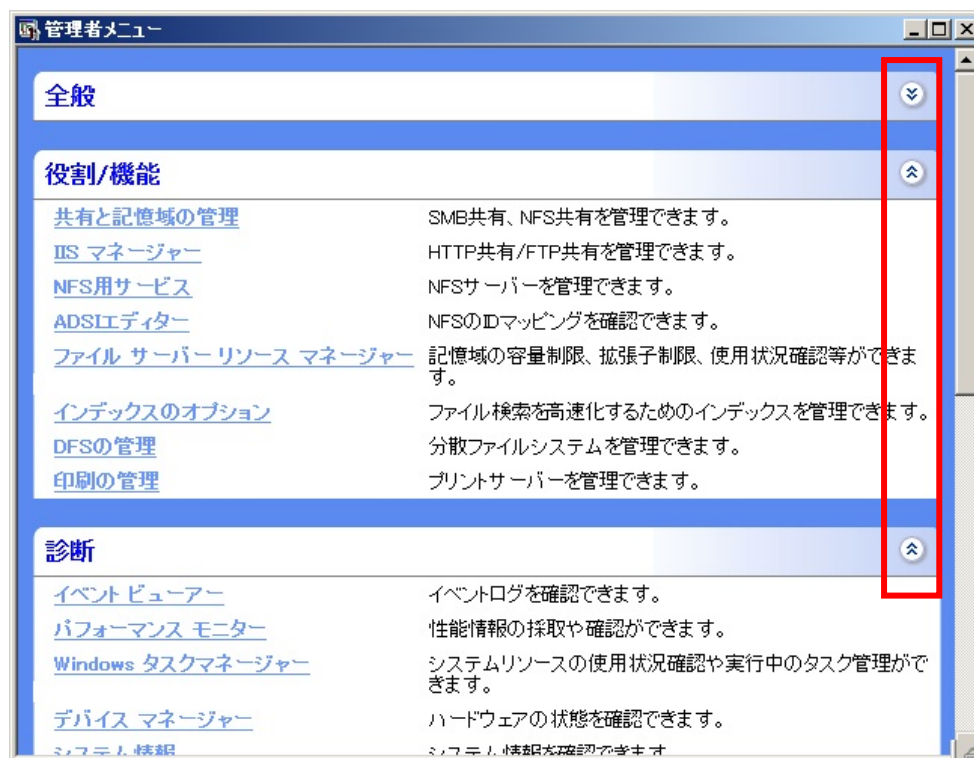
2. iStorage NS のネットワーク名またはネットワーク IP アドレスを入力し、末尾に "/desktop" をつけます。 (例えば、http://myStorageServer/desktop)

3. [リモート管理デスクトップ] で、システム管理者アカウント情報を入力します。

# 1.3　管理者メニュー

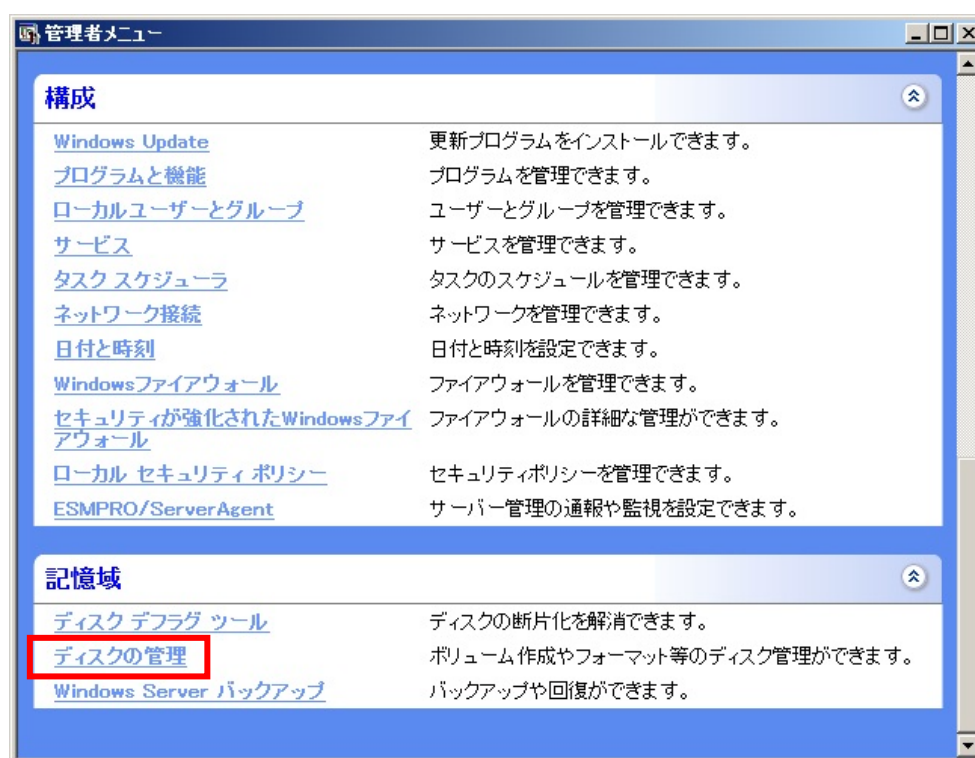
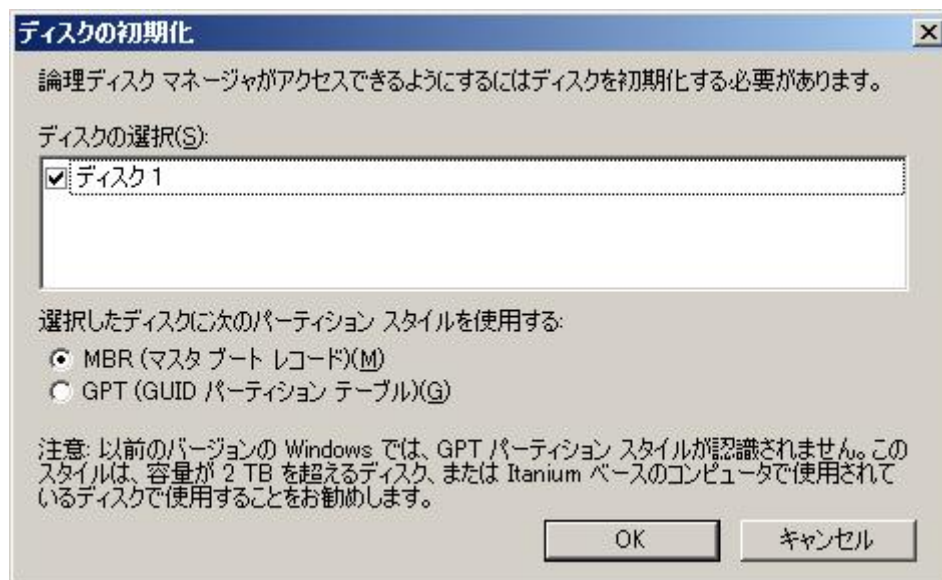
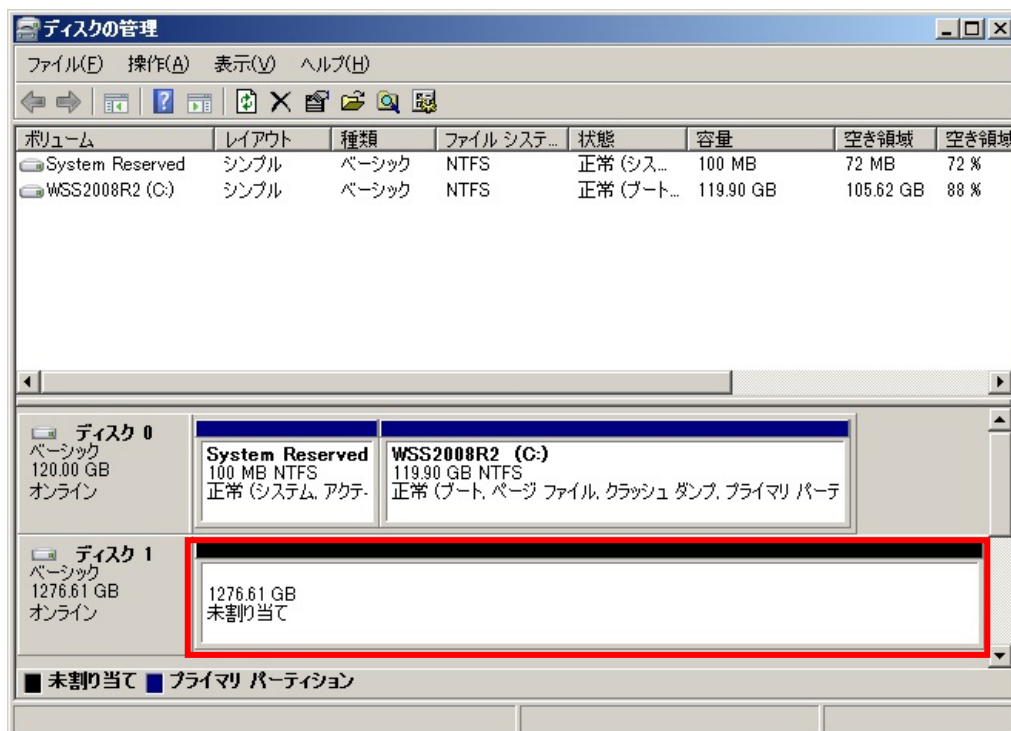
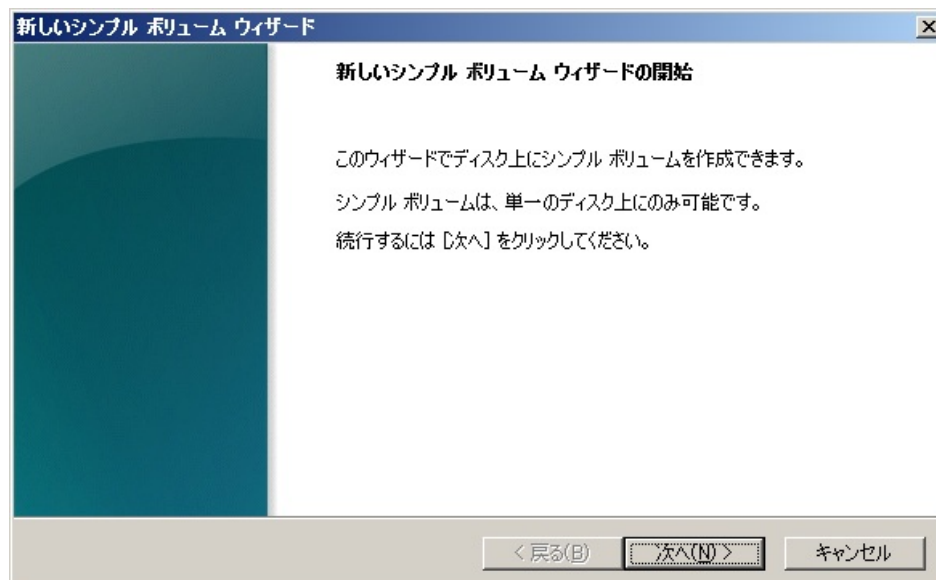
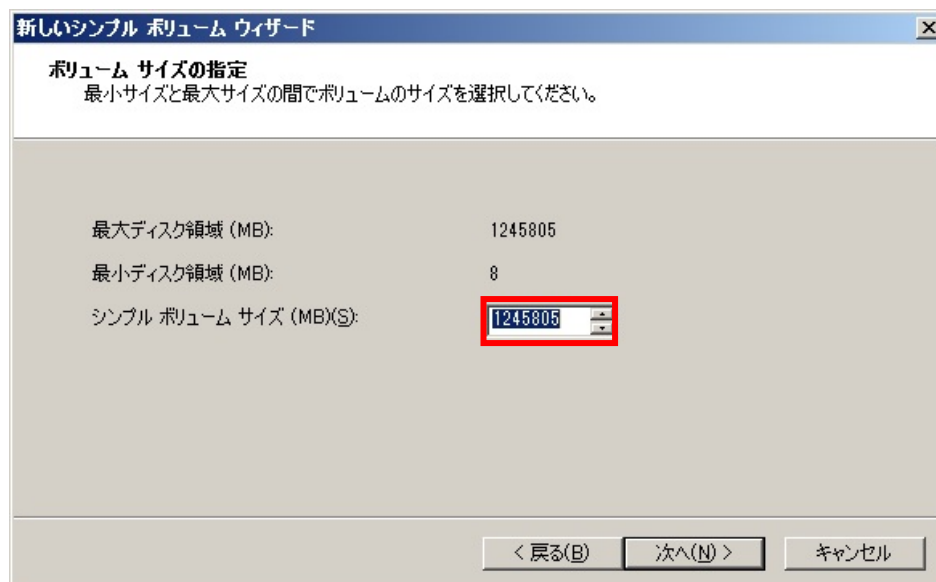
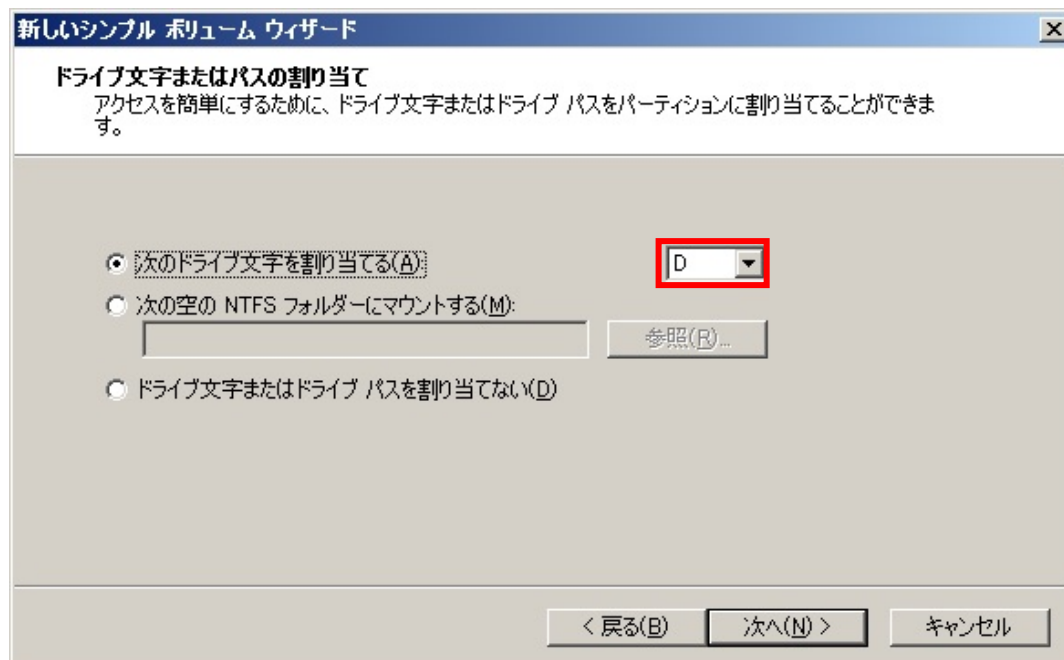
iStorage NS では、設定や運用時に管理者メニューを使用します。

## 1.3.1　管理者メニューの起動

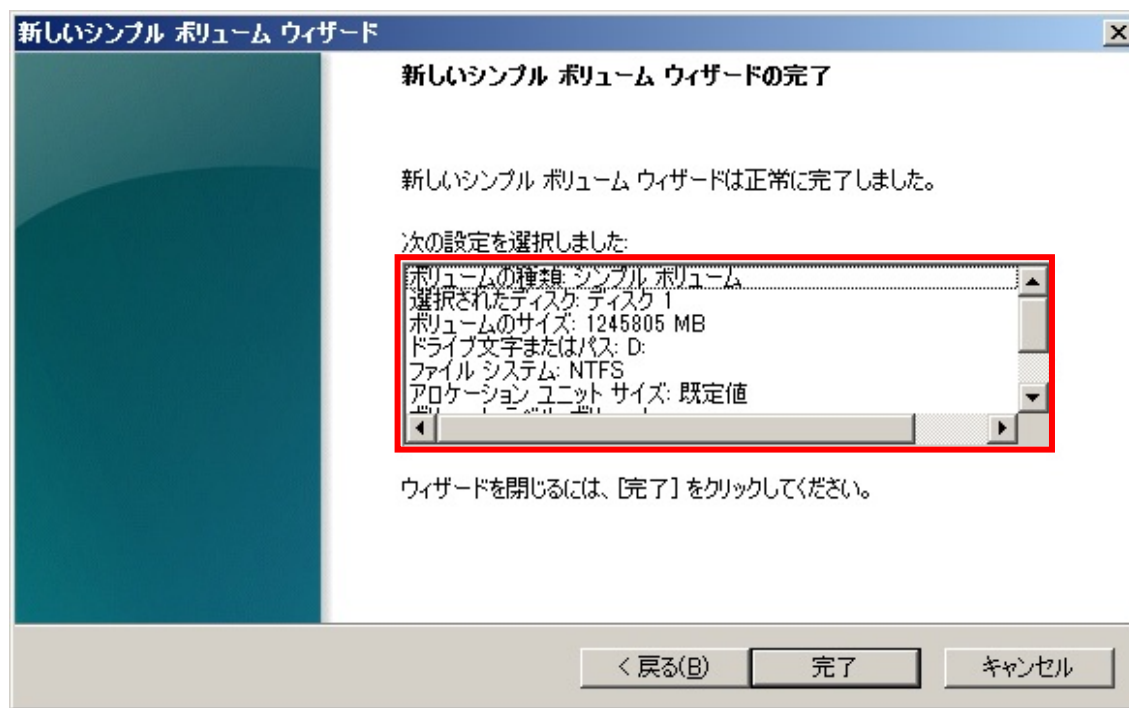
管理者メニューは、リモートデスクトップ等で iStorage NS にログオンすると自動起動します。また、ディスプレイ、キーボード、マウスを接続してログオンしても同様です。自動起動しなかった場合や画面を閉じた後に再度起動させる場合は、デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。

各項目の右上 をクリックし、管理者が通常使用しない項目を閉じることができます。このように、管理者が使いやすいように設定することができます。

# 1.4　ディスクの管理

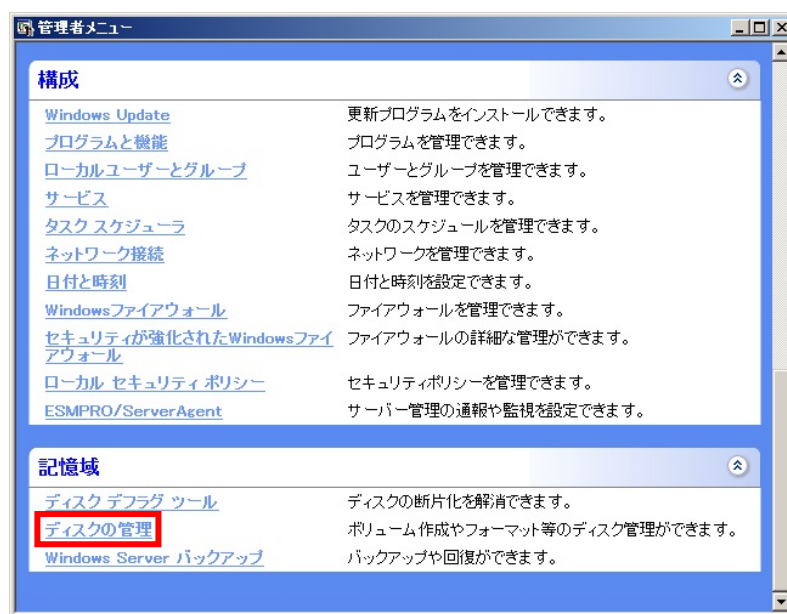
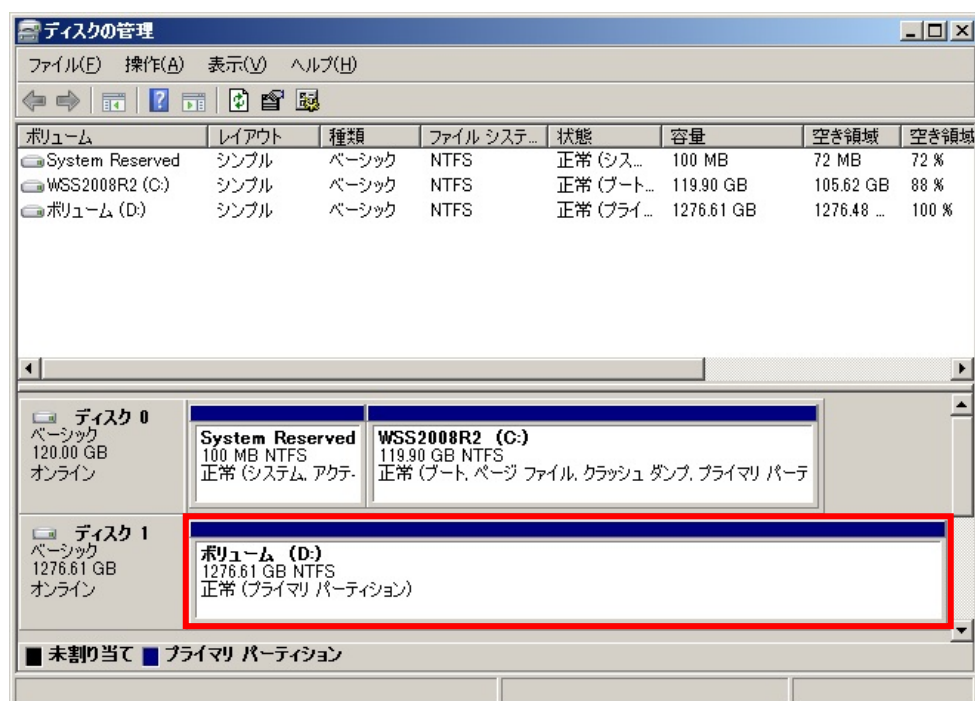
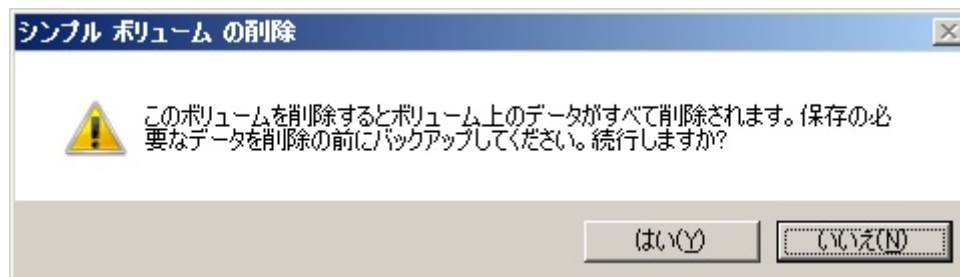
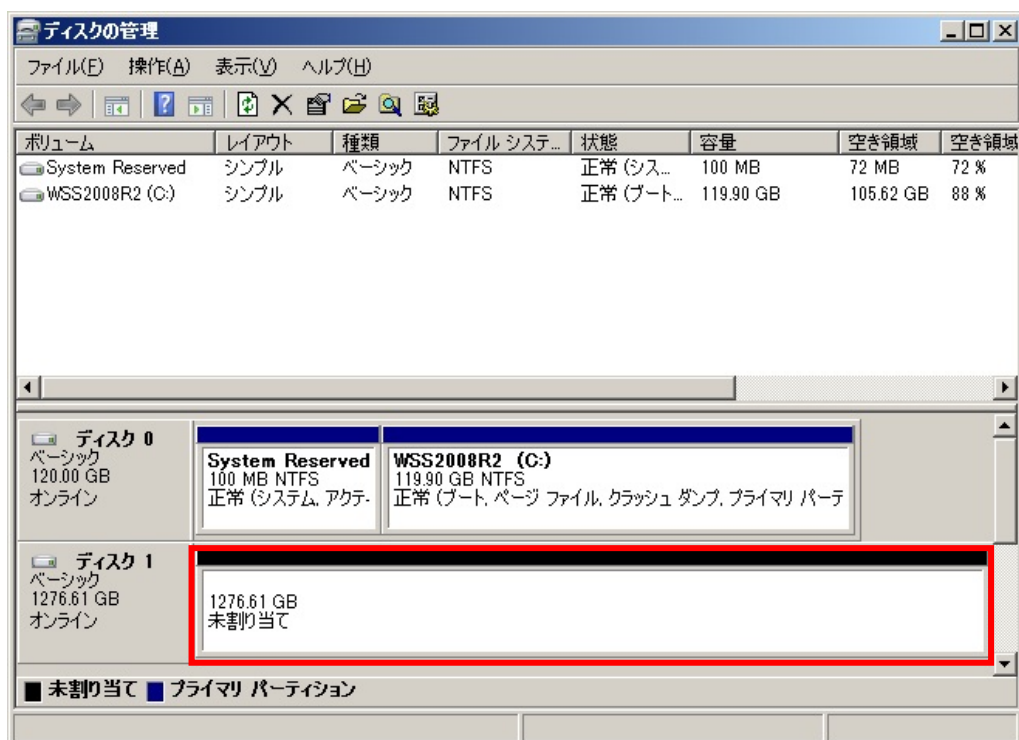
ディスクの管理では、パーティションとボリュームの作成、それらのフォーマット、ドライブ文字の割り当てなど、ディスクに関連した基本的なタスクを実行できるだけでなく、フォールトトレラントなボリュームの作成と修復など、高度な作業も実行できます。ここでは、ボリュームの作成方法と削除方法を説明しますが、その他の機能の操作方法はオンラインヘルプをご参照ください。

## 1.4.1　ボリュームの作成

1. 管理者メニューの [ディスクの管理] をクリックします。

2. 未使用のディスクが存在する場合には、以下の画面が表示されます。2TB 以上のディスクの場合に "GPT" を選択すると、2TB 以上の領域を 1 つの領域にすることができます。

3. 未割り当て領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム] をクリックします。

4. ウィザードが起動したら、[次へ] ボタンをクリックします。

5. 作成するボリュームのサイズを指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

6. ドライブ文字を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

7. フォーマットの有無を指定して [次へ] ボタンをクリックします。

【補足】作成するボリュームでシャドウコピーとデフラグを実行する可能性がある場合は、アロケーションユニットサイズで 16KB 以上を選択してください。なお、既に作成しているボリュームのアロケーションユニットサイズだけを変更することはできません。アロケーションユニットサイズを変更するためには、ボリュームを削除して再度作成する必要があり、データはすべて削除されます。

8. 設定内容が正しいことを確認し、[完了] ボタンをクリックします。

## 1.4.2　ボリュームの削除

1.　管理者メニューの [ディスクの管理] をクリックします。

2.　削除したいボリュームを右クリックし、[パーティションの削除] をクリックします。

3. 以下のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。

4. ボリュームの削除が完了すると、以下のように対象ボリュームが "未割り当て" と表示されます。

# 1.5　ユーザー/グループ管理

iStorage NS をワークグループでご使用の場合、以下の手順でローカルユーザーとグループを設定してください。iStorage NS をドメインに参加させ、メンバーサーバーとして使用する場合は、ローカルユーザーやグループを設定する必要はありません。

## 1.5.1　ローカルユーザーの作成

1.　管理者メニューの［ローカルユーザーとグループ］をクリックします。

2.　［ユーザー］を右クリックし、［新しいユーザー］をクリックします。

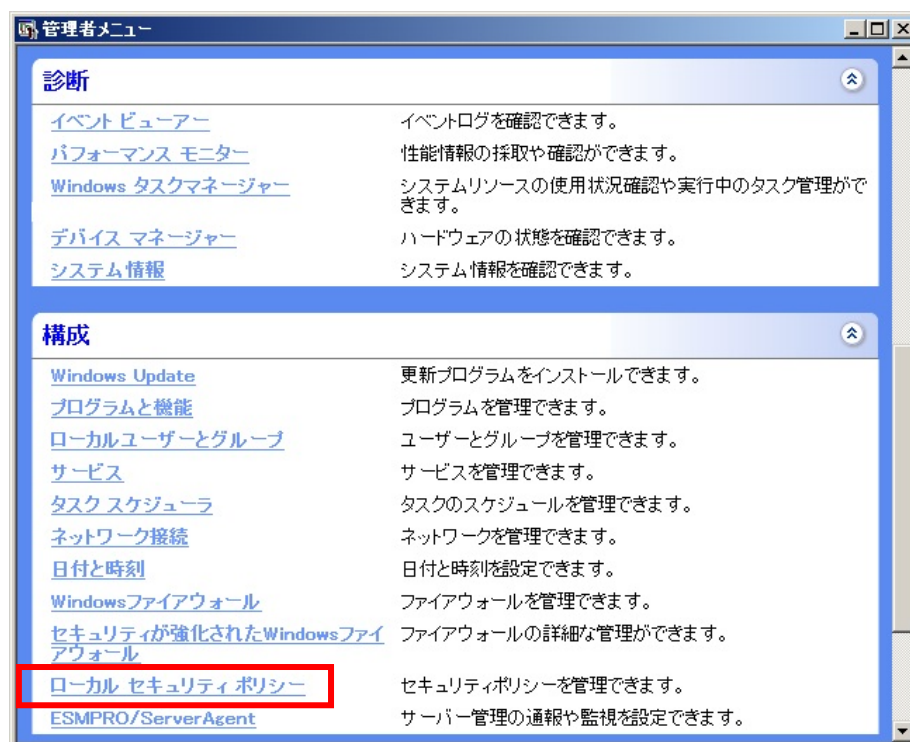
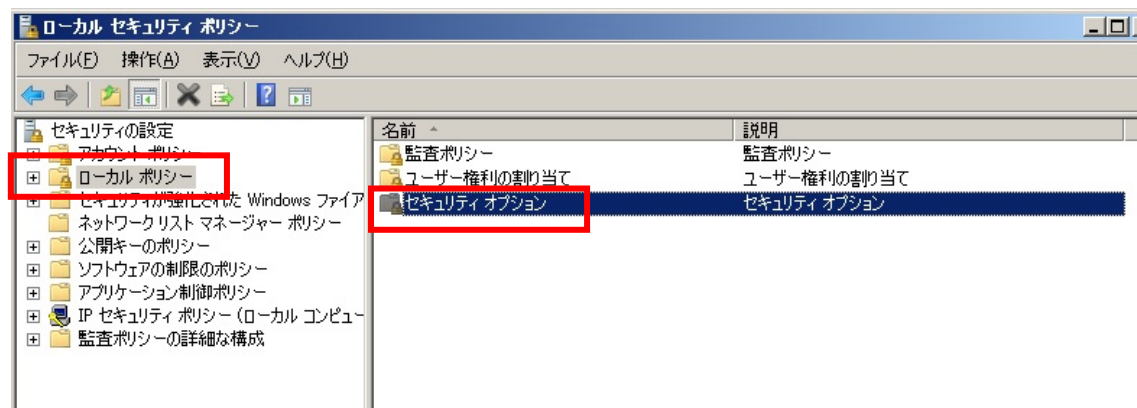
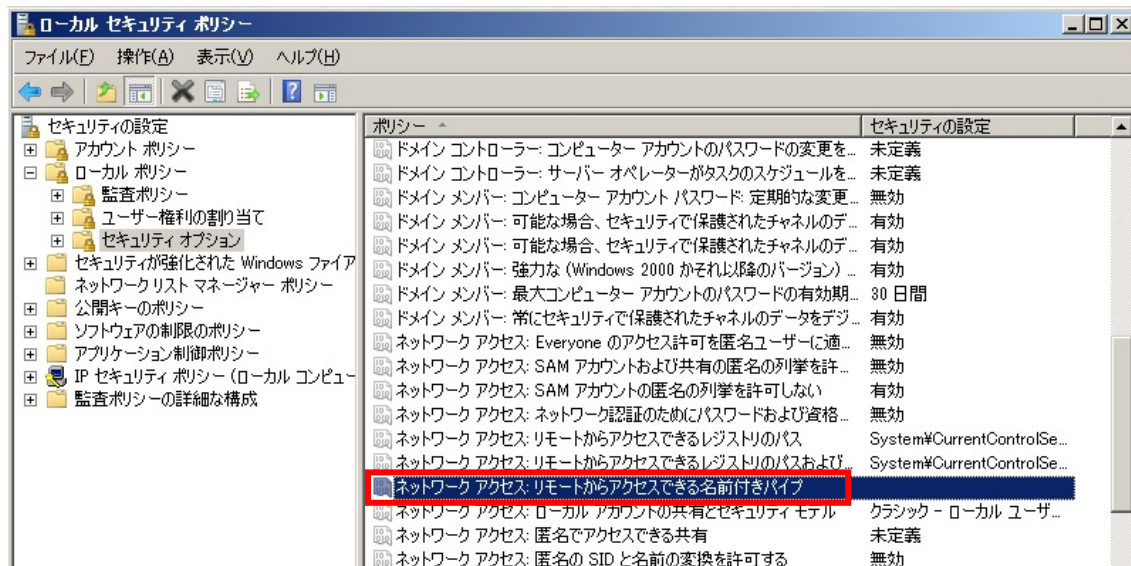
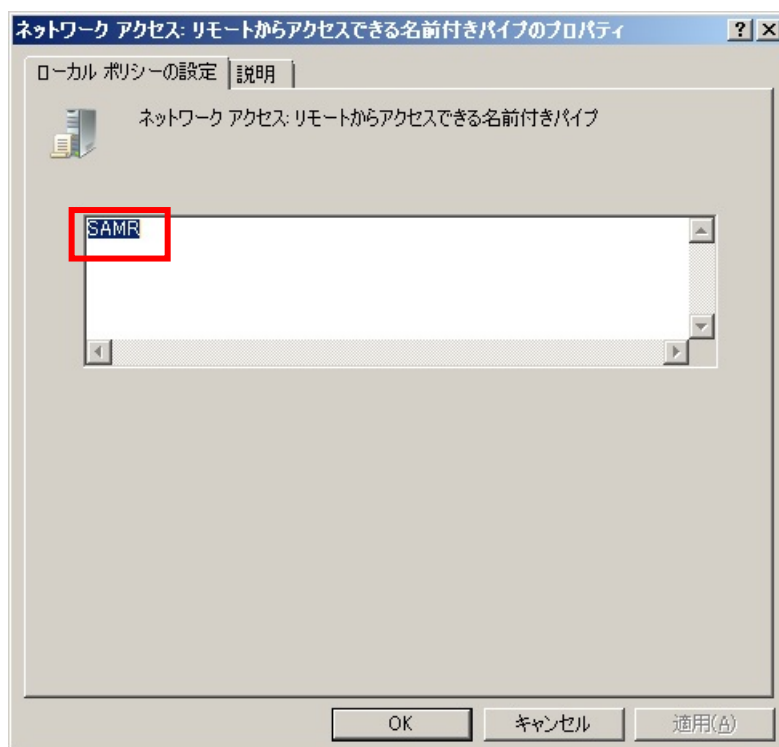
3. ユーザー名等を指定し、[作成] ボタンをクリックします。

その後、作成したユーザーのプロパティを開き、所属するグループ等必要に応じて設定してください。

上記のパスワードは、管理者が一時的に作成したものであるため、運用に際しては次項【1.5.1.1　セキュリティの設定を変更する】と【1.5.1.2　ユーザーのパスワードを変更する】の手順に従い、クライアントユーザーにて変更することをお奨めします。

### 1.5.1.1 セキュリティの設定を変更する

クライアントからユーザーのパスワードを変更するには、事前に以下の手順でセキュリティの設定を変更する必要があります。

1. 管理者メニューの[ローカル セキュリティ ポリシー] をクリックします。

2. 左ツリーの[ローカルポリシー]をクリックし、[セキュリティ オプション]をダブルクリックします。

3.　[ネットワークアクセス：リモートからアクセスできる名前付きパイプ]をダブルクリックします。

4.　[ローカル ポリシーの設定]タブを選択して"SAMR"と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

以上で、セキュリティの設定が変更され、クライアントからユーザーのパスワードを変更できる状態になりました。

### 1.5.1.2　ユーザーのパスワードを変更する

以下の手順で、クライアントからユーザーのパスワードを変更します。

1. クライアント PC で、[Ctrl+Alt+Del]を押下します。

2. [パスワードの変更] ボタンをクリックします。

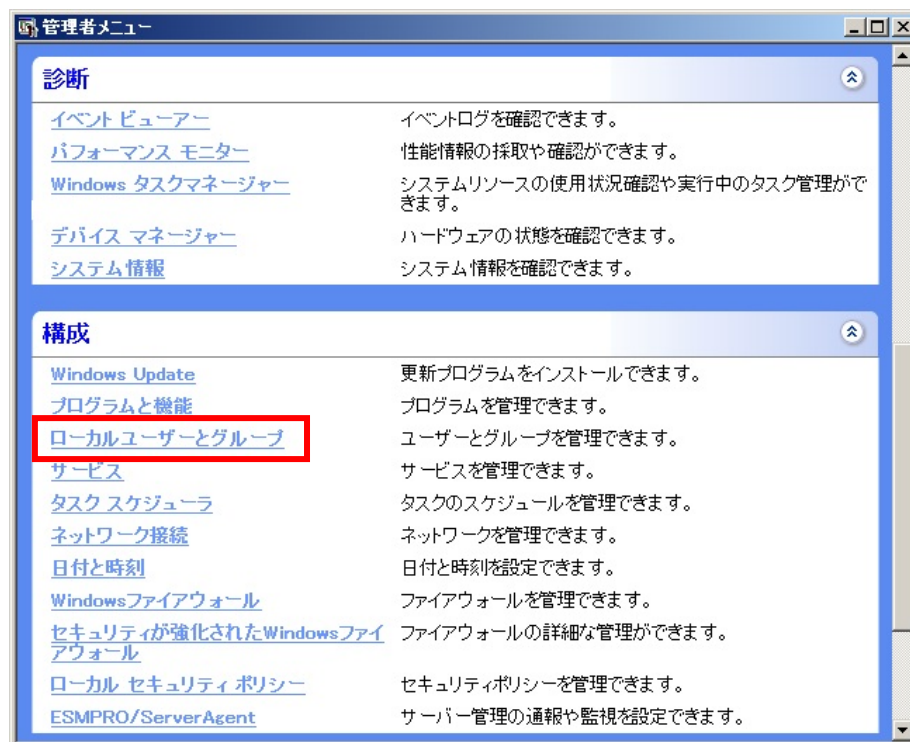
3. 変更内容を下記の表を基に入力して [OK] ボタンをクリックします。

| 項目名 | 入力内容 |
|---|---|
| ユーザー名 | パスワードを変更するユーザー名 |
| ログオン先 | iStorage NS のコンピューター名※ |
| 古いパスワード | 変更前のパスワード |
| 新しいパスワード | 新たに設定するパスワード |
| 新しいパスワード（確認入力） | 新たに設定するパスワードの再入力 |

※コンピューター名はキーボードより入力してください。

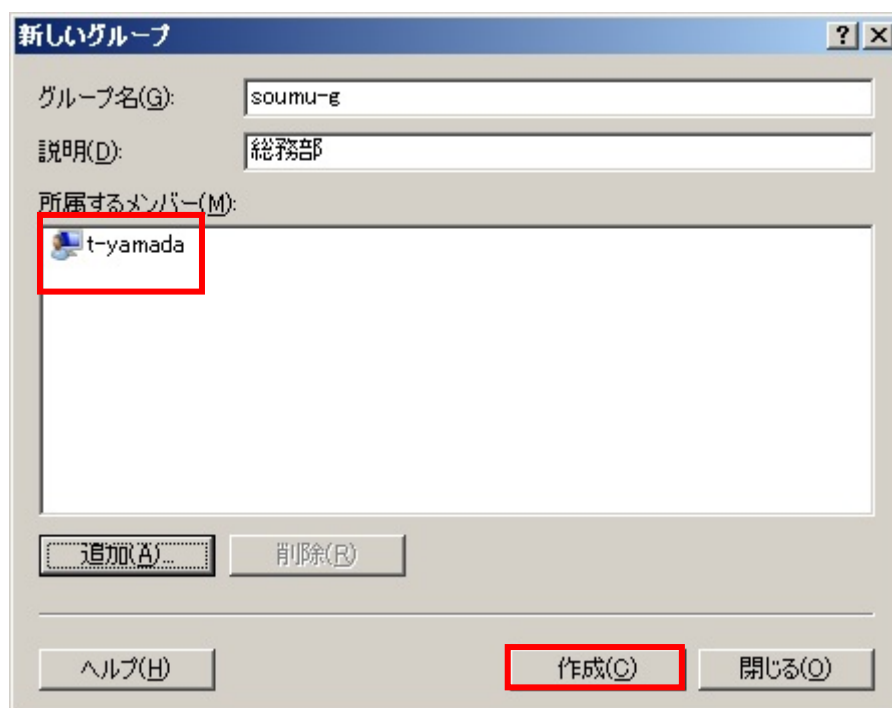
【注意】
- パスワードの有効期限は初期設定では 42 日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- パスワードの文字数は 6 文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の 4 つの種類のうち 3 つの種類が使用されていなければなりません。

## 1.5.2 ローカルグループの作成

1. 管理者メニューの [ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

2. [グループ] を右クリックし、[新しいグループ] をクリックします。

3. グループ名、説明を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

4. [ユーザー の選択] 画面が表示されるので、[選択するオブジェクト名を入力してください] の欄に追加するユーザーを入力して [名前の確認] をクリックします。
   確認されたら [OK] ボタンをクリックします。

5. [所属するメンバー] に追加したユーザーが表示されていることを確認して [作成] ボタンをクリックします。

6. [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じます。

その後、作成したグループのプロパティを開き、必要に応じて設定してください。